

お粥を拵へて貰つて、二三日寝なければならぬと思つた。

川崎の辻潤の所には大勢居た。佐藤惣之助が田舎者らしくなつたと言つた。まあちやんとマザーは東京の病人のある家へ行つてゐると辻潤が言つた。

『本物のキチガヒだから、キチガヒだと思はれても仕方がないよ』

辻潤は東京へ一緒に行かうと言つた。

めしを食つて日の暮になつた。萬世橋で降りて向柳原まで歩るいた。

めかねの玉を新吉は買つた。

まあちやんとマザーに寸時遇つた

電車に乗つて牛込の原町で降りた。

遠藤無水が、會津の小鐵の話と、田所と十八の娘のある話をした。

女の子が二三人居た。

日比谷公園で、巡査に曳き摺られて擲られてから、禁酒した話もしました。